



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 大林道路株式会社

コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 向 靖久

TEL 03-3618-6500

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,709	19.0	513	—	508	—	298	—
24年3月期第2四半期	30,849	△20.0	△772	—	△790	—	△459	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 290百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △463百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
25年3月期第2四半期	6.41	—	
24年3月期第2四半期	△9.86	—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	62,122	25,463	41.0	546.96
24年3月期	67,498	25,312	37.5	543.69

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 25,463百万円 24年3月期 25,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,200	9.0	1,560	△3.4	1,540	△4.4	740	20.8	15.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	46,818,807 株	24年3月期	46,818,807 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	265,058 株	24年3月期	261,440 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	46,555,936 株	24年3月期2Q	46,562,944 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	8.9	1,530	△3.5	1,500	△5.9	700	34.8	15.04

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
4. （参考）個別財務諸表	9
(1) （参考）四半期貸借対照表	9
(2) （参考）四半期損益計算書	11
5. 補足情報	12
(1) 連結受注・売上実績	12
(2) 個別受注・売上実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務危機の再燃懸念や中国経済の減速等の影響により、依然として先行き不透明な状況にありました。

道路建設業界におきましては、震災復旧・復興事業が本格化し、民間の設備投資についても穏やかな回復傾向が続いております。

このような状況の下で、当社グループは工事受注量及び製品販売量の確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は455億1千2百万円（前年同四半期比18.4%増）、売上高は367億9百万円（前年同四半期比19.0%増）となりました。

利益につきましては、売上高の増加と原価管理の徹底により、売上総利益は27億2千2百万円（前年同四半期比84.6%増）となり、経常利益は5億8百万円（前年同四半期は経常損失7億9千万円）となりました。

四半期純利益につきましては、2億9千8百万円（前年同四半期は四半期純損失4億5千9百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、工事の完成引渡し及び施工が第4四半期連結会計期間に集中するといった季節の変動要因により売上高が低調な時期であることと売上債権の回収が順調に推移したことにより、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ53億7千6百万円減の621億2千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、工事の完成引渡し及び施工が第4四半期連結会計期間に集中するといった季節の変動要因により施工が低調な時期であるため、「支払手形・工事未払金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ55億2千6百万円減の366億5千9百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益を計上したことから、前連結会計年度末に比べ1億5千万円増の254億6千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に売上債権の減少により営業活動によるキャッシュ・フローが増加した結果、期首と比較して15億8千9百万円増加し、67億6千4百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に売上債権が減少したため、24億5千2百万円のプラス（前年同四半期は25億1千9百万円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

アスファルト混合所設備の更新、営業所の建て替え等の固定資産の取得に伴う支出により、6億7千8百万円のマイナス（前年同四半期は10億7千万円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払いにより、1億8千3百万円のマイナス（前年同四半期は1億9千3百万円のマイナス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表しました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想の数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,174	6,764
受取手形・完成工事未収入金等	35,450	28,475
有価証券	—	20
販売用不動産	0	0
未成工事支出金	2,674	3,099
材料貯蔵品	553	521
その他	2,207	1,647
貸倒引当金	△55	△44
流動資産合計	46,005	40,484
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,713	12,715
その他(純額)	5,492	5,666
有形固定資産合計	18,205	18,381
無形固定資産		
投資その他の資産	210	200
その他	3,398	3,361
貸倒引当金	△320	△305
投資その他の資産合計	3,078	3,056
固定資産合計	21,493	21,638
資産合計	67,498	62,122

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,952	21,189
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	742	347
未成工事受入金	703	2,925
完成工事補償引当金	82	86
工事損失引当金	265	135
その他	3,169	3,664
流動負債合計	35,916	30,348
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,748	1,748
退職給付引当金	4,301	4,340
その他	220	223
固定負債合計	6,269	6,311
負債合計	42,186	36,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	12,761	12,919
自己株式	△53	△54
株主資本合計	25,096	25,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	61
土地再評価差額金	146	146
その他の包括利益累計額合計	215	208
純資産合計	25,312	25,463
負債純資産合計	67,498	62,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	30,849	36,709
売上原価	29,374	33,986
売上総利益	1,475	2,722
販売費及び一般管理費	2,247	2,208
営業利益又は営業損失(△)	△772	513
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	3
受取手数料	4	4
デリバティブ評価益	8	6
その他	2	4
営業外収益合計	21	20
営業外費用		
支払利息	16	17
持分法による投資損失	16	3
その他	7	4
営業外費用合計	40	26
経常利益又は経常損失(△)	△790	508
特別利益		
固定資産売却益	1	—
負ののれん発生益	78	—
受取補償金	—	129
その他	24	0
特別利益合計	103	129
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	18
その他	3	6
特別損失合計	24	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△711	612
法人税、住民税及び事業税	30	249
法人税等調整額	△282	64
法人税等合計	△251	314
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△459	298
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△459	298

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△459	298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△7
その他の包括利益合計	△4	△7
四半期包括利益	△463	290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△463	290

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△711	612
減価償却費	773	651
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△124	△26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	39
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	16	17
持分法による投資損益(△は益)	16	3
売上債権の増減額(△は増加)	12,312	7,296
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,663	△425
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,752	△7,762
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,132	2,221
負ののれん発生益	△78	—
受取補償金	—	△129
その他	622	477
小計	2,562	2,971
利息及び配当金の受取額	15	8
利息の支払額	△16	△18
法人税等の支払額	△42	△638
補償金の受取額	—	129
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,519	2,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,271	△678
有形固定資産の売却による収入	4	3
投資有価証券の取得による支出	△20	—
投資有価証券の償還による収入	20	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	84	—
その他	112	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,070	△678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△53	△42
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△139	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193	△183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,253	1,589
現金及び現金同等物の期首残高	5,338	5,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,591	6,764

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	24,653	6,195	30,849	—	30,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,352	2,352	△2,352	—
計	24,653	8,548	33,202	△2,352	30,849
セグメント利益又は損失(△)	△165	431	265	△1,038	△772

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,038百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,038百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「建設事業」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったフォレストコンサルタント㈱の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては78百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	30,069	6,639	36,709	—	36,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	4,670	4,674	△4,674	—
計	30,073	11,309	41,383	△4,674	36,709
セグメント利益	663	863	1,527	△1,013	513

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,013百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. (参考) 個別財務諸表

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(位：百万円)

	前 事 業 年 度 (平成24年3月31日)	当 第 2 四 半 期 会 計 期 間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,802	6,367
受取手形	3,971	4,153
完成工事未収入金	27,432	21,940
売掛金	4,011	2,375
有価証券	—	20
販売用不動産	0	0
未成工事支出金	2,658	3,071
材料貯蔵品	549	521
その他	2,194	1,646
貸倒引当金	△55	△44
流動資産合計	45,564	40,051
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,713	12,715
その他(純額)	5,471	5,629
有形固定資産合計	18,184	18,344
無形固定資産	209	199
投資その他の資産		
その他	3,410	3,380
貸倒引当金	△320	△305
投資その他の資産合計	3,090	3,074
固定資産合計	21,484	21,618
資産合計	67,048	61,670

(単位:百万円)

	前 事 業 年 度 (平成24年3月31日)	当 第 2 四 半 期 会 計 期 間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	12,125	9,327
工事未払金	12,103	8,402
買掛金	4,706	3,450
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	740	346
未成工事受入金	703	2,921
完成工事補償引当金	82	86
工事損失引当金	265	135
その他	3,151	3,633
流動負債合計	35,878	30,304
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,748	1,748
退職給付引当金	4,301	4,338
環境対策引当金	6	6
その他	213	216
固定負債合計	6,269	6,309
負債合計	42,148	36,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	12,349	12,513
自己株式	△53	△54
株主資本合計	24,685	24,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	68	61
土地再評価差額金	146	146
評価・換算差額等合計	215	208
純資産合計	24,900	25,056
負債純資産合計	67,048	61,670

(注) 1. この四半期貸借対照表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

2. この四半期貸借対照表は、「四半期財務諸表等規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しております。

(2) (参考) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	30,838	36,690
売上原価	29,387	34,008
売上総利益	1,451	2,682
販売費及び一般管理費	2,218	2,170
営業利益又は営業損失(△)	△767	512
営業外収益	31	24
営業外費用	23	22
経常利益又は経常損失(△)	△759	513
特別利益	25	129
特別損失	24	25
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△757	617
税金費用	△253	314
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△504	303

- (注) 1. この四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
 2. この四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しておりますが、科目の区分掲記につきましては、一部要約しております。

5. 補足情報

(1) 連結受注・売上実績

① 受注実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	32,227	38,873	70,238
製造・販売他事業(百万円)	6,195	6,639	15,821
合計(百万円)	38,423	45,512	86,059

② 売上実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	24,653	30,069	66,016
製造・販売他事業(百万円)	6,195	6,639	15,821
合計(百万円)	30,849	36,709	81,837

(注) 当連結企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していない。

(2) 個別受注・売上実績

① 平成25年3月期第2四半期の個別受注実績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	受注高	
平成25年3月期第2四半期累計期間	45,455百万円	18.4%
平成24年3月期第2四半期累計期間	38,390百万円	2.7%

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

② 発注者別

(単位:百万円)

		前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比	金額	構成比
当期受注高	国内官公庁	9,548	24.9	11,605	25.5	2,056	21.5	23,890	27.8
	国内民間	22,646	59.0	26,553	58.5	3,907	17.3	46,230	53.8
	海外	—	—	656	1.4	656	—	—	—
	工事部門計	32,194	83.9	38,815	85.4	6,620	20.6	70,120	81.6
	製品部門	6,195	16.1	6,639	14.6	444	7.2	15,820	18.4
	合計	38,390	100	45,455	100	7,065	18.4	85,941	100
当期売上高	国内官公庁	7,056	22.9	9,378	25.6	2,321	32.9	22,004	26.9
	国内民間	17,586	57.0	20,641	56.3	3,055	17.4	43,912	53.7
	海外	—	—	30	0.0	30	—	—	—
	工事部門計	24,643	79.9	30,050	81.9	5,407	21.9	65,916	80.6
	製品部門	6,195	20.1	6,639	18.1	444	7.2	15,820	19.4
	合計	30,838	100	36,690	100	5,852	19.0	81,737	100
次期繰越高	国内官公庁	16,071	50.0	17,692	47.1	1,620	10.1	15,464	53.7
	国内民間	16,070	50.0	19,241	51.2	3,170	19.7	13,330	46.3
	海外	—	—	625	1.7	625	—	—	—
	工事部門計	32,142	100	37,558	100	5,416	16.9	28,794	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	32,142	100	37,558	100	5,416	16.9	28,794	100

③ 工種別

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比	金額	構成比
当期受注高	アスファルト舗装	20,515	53.4	26,987	59.4	6,471	31.6	45,154	52.5
	セメントコンクリート舗装	850	2.2	521	1.1	△329	△38.7	3,869	4.5
	土木工事	10,732	28.0	10,773	23.7	41	0.4	20,943	24.4
	建築工事	96	0.3	533	1.2	436	451.8	152	0.2
	工事部門計	32,194	83.9	38,815	85.4	6,620	20.6	70,120	81.6
	製品部門	6,195	16.1	6,639	14.6	444	7.2	15,820	18.4
	合計	38,390	100	45,455	100	7,065	18.4	85,941	100
当期売上高	アスファルト舗装	15,881	51.5	20,093	54.8	4,211	26.5	43,835	53.6
	セメントコンクリート舗装	313	1.0	990	2.7	676	215.5	1,140	1.4
	土木工事	8,357	27.1	8,966	24.4	609	7.3	20,827	25.5
	建築工事	90	0.3	0	0.0	△90	△99.7	113	0.1
	工事部門計	24,643	79.9	30,050	81.9	5,407	21.9	65,916	80.6
	製品部門	6,195	20.1	6,639	18.1	444	7.2	15,820	19.4
	合計	30,838	100	36,690	100	5,852	19.0	81,737	100
次期繰越高	アスファルト舗装	23,349	72.6	26,928	71.7	3,579	15.3	20,034	69.6
	セメントコンクリート舗装	761	2.4	2,484	6.6	1,723	226.4	2,953	10.3
	土木工事	8,008	24.9	7,556	20.1	△451	△5.6	5,750	20.0
	建築工事	23	0.1	588	1.6	565	—	55	0.1
	工事部門計	32,142	100	37,558	100	5,416	16.9	28,794	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	32,142	100	37,558	100	5,416	16.9	28,794	100